

人にやさしく  
地球にやさしい

# 大日新聞

**大日化成株式会社**  
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13  
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702  
URL : http://www.dainichikasei.co.jp

**通気緩衝工法** 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます  
**BIG SUN RX 工法**



こんなにところで活躍しています

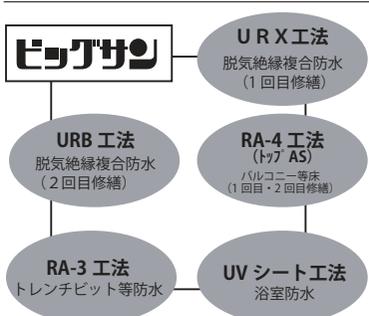


医療福祉施設屋上 (VUS500)

## UR都市機構 保全工事共通仕様書改定！！ 「ビッグサン」が5つの工法に対応いたしました！

「UR都市機構」ってご存知ですか？はるか昔、昭和30年代頃、都市部に働き込んだ時代に住宅不足の解消として「日本住宅公団」という名で、大規模団地を立ち上げた。現在は「UR都市機構」という名で、住宅供給は終了したものの、既存の団地を様々なリノベーションを行い、時代にあっただけでなく、価値の高い住宅に改修して、人々に提供しています。

建物は老朽化しますので、メンテナンスや補修を行う必要がありますが、そこで「保全工事共通仕様書」というものを発刊して、工事内容や使用する製品規格を統一化、品質の確保や工事の設計・監理業務の効率化をおこなっています。この「保全工事共通仕様書」は、昭和59年より発刊され



昭和61年からは3年ごとに、その時代、それぞれの建物の保全工事に適した内容であるかを確認し、仕様の改定がおこなわれており、昨年の10月に「保全工事共通仕様書」(平成26年版)が発刊されました。11回目の改定になります。今回の改定で、新たな工法が加わり、弊社「ビッグサン」にて対応できる工法が5つになりました。その内容をご紹介します。

- ★その1 脱気絶縁複合防水 (ポリマーセメント系) 1回目修繕仕様、「ビッグサンURX工法」。既存がコンクリート押入の屋上の改修仕様として、ポリマーセメント系の脱気絶縁工法が採用されました。
- ★その2 脱気絶縁複合防水 (ポリマーセメント系) 2回目修繕仕様、「ビッグサンURB工法」。1回目修繕がされている屋上に既存防水層に直接防水施工を行う密着工法が採用されました。
- ★その3 トレンチピット等の内面防水仕様、「ビッグサンRA3工法」。トレンチピット内面に施工することで、配管等からの万一の漏水に備えます。
- ★その4 バルコニー等床防水仕様、「ビッグサンRA4工法」(トップAS仕上げ)。バルコニーの改修として、1回目・2回目・部分防水と使用。

★その5 浴室改修防水仕様「ビッグサンUVシート工法」。紫外線硬化型のFRPシートを使用し、施工中の危険性を排した工法になります。

以上5種類と、「保全工事共通仕様書」の防水仕様がそろいましたので、新しくUR都市機構用の「ビッグサン」カタログも出来ました！ぜひご覧ください！

「ビッグサンRA4工法RA3工法」という名前でも、UR都市機構用では塗布量が違っており、詳しくはUR都市機構用のカタログをご覧ください。

お問い合わせ等は弊社各営業部までお願いいたします。

さて、今年未年で、羊は昔から家畜として飼われ、人間には重宝された動物でした。それに因んで、今年が羊のように平和で穏やかな年になって欲しいと思います。

ただ、原油価格が下がっているのが僅かな救いではあります。今後の安倍総理の手腕に期待しつつも、時代の先行きを危惧して、この厳しい年を全社員一丸とって業績を上げ、皆様のお役に立てるよう品質の向上と製品開発に取り組んでいきます。

最後に、弊社の今年の期待製品を掲げますと、BIG SUN スレート屋根の改修、遮熱工法です。行政法人、建築研究所から「アスベスト含有成形板の塗装

最近、東京や大阪等の大都市圏で中国人の観光客が凄く勢いで増えているように感じます。地方都市も沢山の観光客が増えています。先日、大阪の心斎橋を歩いていると中国人と韓国人が土産物を両手に持っていて、道一杯に歩いて来るので避け切れず、バスがヨーロッパの高級店の前で駐車し、中国人がどつどつと買い物をする光景も圧巻です。

日本の風景は美しく、歴史、伝統も豊富なので観光立国に相応しいので、今後は、そういう場所も観光客が足を運ぶようになると思います。しかし、我が社の工場がある岡山の片田舎には外国人観光客は皆無です。殆どの地方は過疎が進んでいて、学校や病院の閉鎖、合併は数えきれない程です。政府は地方創生を大きな目標として掲げ、具体策を僅かではありますが実行に移していますので、今後は、希望と期待を持って見守りたいと思います。

また、他の2種類の新製品を紹介いたしますと、①冬用のBIG SUN(800シリーズ)、現在好評を頂いております。②一剤型、水無しで使える高性能防水材「ワンブルーフ」も期待商品であります。

弊社は、皆様のご意見を具現化した製品の開発を一步一步進めて行く所存ですので、今後共、何卒宜しく、ご支援、ご鞭撻の程、厚くお願い申し上げます。

最後に皆様のご多幸と健勝をお祈り申し上げます。

代表取締役社長 小林直樹

**スカイレジン** <下地調整材>  
**スカイレジンWE**  
**エポフィラー**  
**プライマーE**  
**EPC-T**  
水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

**BIG SUN**  
<土木用防水材>  
ポリマーセメント系塗膜防水材料  
**BS・ラビアルE-S**  
<高強度高弾性プレミックスモルタル>  
コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

**霧ヶ峰シリーズ**  
節電できる壁面緑化を実現！

## 二〇一五年新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございませう。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年暮れの衆議院選挙で自民党が圧勝し、安倍首相が進める経済政策「アベノミクス」は引き続き続けられることになりました。

金融緩和と財政支出による円安でもたらされた景気回復はミニバブルのような実体のない株価のようにも思えます。消費税10%は1年半延期となり、政府は日本経済の発展並びに国民生活の安定が維持されるように説明しています。しかしながら、大企業や公務員以外の国民の生活指標は、まだまだ上昇していませんし、我々、内需型中小企業は円安の影響で原材料の値上げと戦わなければいけません。

最近、東京や大阪等の大都市圏で中国人の観光客が凄く勢いで増えているように感じます。地方都市も沢山の観光客が増えています。先日、大阪の心斎橋を歩いていると中国人と韓国人が土産物を両手に持っていて、道一杯に歩いて来るので避けられず、バスがヨーロッパの高級店の前で駐車し、中国人がどつどつと買い物をする光景も圧巻です。

改修工事指針(案)が発行され、下地調整の方法から中塗り、上塗りの材料選定の基準が出され、その中に中塗りとしてポリマーセメントが選定されています。

今まで、非常に困難とされていたアスベスト含有スレートの改修ができるので、工場を所有している皆様に朗報と思えます。



**大日化成資料がスマホ対応で手軽にダウンロード出来るサイトを公開!**

かねてお問い合わせの多かった、ビッグサン標準施工要領書でございませうが、この度技術資料をはじめとする、データダウンロードサイトを「大日化成」営業ツール「大日化成」サイトを立ち上げたしました。iPhoneをはじめとスマートフォンでも容易に閲覧して頂けるように、表示を最適化しております。

もちろんパソコンやタブレット端末でもそれぞれ最適化された画面にてご利用頂けます。

これから現場で施工したいのだが、標準施工仕様が不明で...という施工業者様からのお問い合わせも多く頂いており、現場で簡単にスマホでの閲覧が可能となりました。

また、営業ツールとして、緑化資料をご提案頂く際に、御社のクライアント様にお出しする「ご提案資料」

- ・屋上緑化（陸屋根用・折板屋根用）
- ・壁面緑化（ワイヤーメッシュ式・ネット式）

の4項目をご用意いたしました。

WEBサイトよりダウンロードしてご利用頂けます。

データはPDF形式です。そのまま印刷して頂き、社名や欄に御社のお名前などを追加で印刷して頂く事で、「御社のご提案書」がご用意出来ます。

ぜひとも緑化のご提案にお役立て下さいませ。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社06-6909-6755 までお願いいたします。

**スタッフ紹介**

日頃は営業活動やお電話で応対させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

緑化の仕事は、大学の専攻が農学部で有った事、親から受け継いだブドウ園の経営などから親しみが有り、やりがいのある仕事を頂いたと感謝しています。

関連して、趣味で学生時代より興味を持って研究している「化学突然変異による新品種作り」を20年来取り組んでいます。この処理法は話題となったSTA



東京支店 営業部 山下 律正

東京支店で緑化部門を担当しています。山下 律正です。

技術部在籍23年を経て、現在東京支店で緑化部門を担当しています。

東京支店に来て6年目を向かえ、緑化一つとっても日々変化する関東圏の動きに驚いています。緑化の仕事には、1999年に始まったセダム緑化研究から携わり、東京支店に移ってからは、市場の変化を先取りした壁面緑化を中心に、新分野の品揃えを開発してきました。この間に商品も増え、個人邸から屋上・壁面をカバーする緑化サイト「緑化スタイル」を提供できる建築緑化サイトを立ち上げる事が出来た事をうれしく思います。

また多くの方々に研究への関心と、成果を認めていただき感謝をしています。

P細胞の作り方に良く似た処理法を使い、諸条件を入れ換えると、興味を引く新植物ができます。趣味での研究を、桐蔭横浜大学 飯島健太郎准教授の指導の下に学会論文に仕上げ、2010年の学会発表を行い、研究実績を残すことが出来て嬉しく思っております。

防雨メーカーが主体の緑化業界は、とすればハードを中心に開発が進み、遺伝子ソフトに光が進み、なかったのですが、「常緑グリーンソフト」の出現以降、遺伝子ソフトの重要性が認識された事に、研究者として喜びを感じています。変異技術の趣味が講じて、私のアパートは温室さながら植物に囲まれ、帰宅すると室内農園での暮らしをしています。

**DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.**

- 本社  
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13  
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702
- 東京支店  
〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5  
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

**次号も お楽しみに**

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

**映画で学ぶ 環境問題**



**ノア 約束の舟 (Noah)**

監督：ダーレン・アロノフスキー  
脚本：ダーレン・アロノフスキー  
製作：ダーレン・アロノフスキー  
出演：ラッセル・クロウ  
ジェニファー・コネリー

配給：パラマウント映画  
上映時間：138分  
公開：2014年 [米国]

今回取り上げるのは、ご存じ、旧約聖書の創世記に記された「ノアの箱舟」の物語を実写化した映画です。創造主である神が、墮落した人間をほろぼすために大洪水を引き起こすことをアダムとイブの子孫であるノアに知らせ、彼とその家族だけに、動植物を1つが1つだけ救う使命を与え、巨大な箱舟の建造に乗り出して行く姿を描いています。

それは紛れもなく、日本においてもまた世界的にも「水害」が頻発しているからです。その要因は、「二酸化炭素の排出」により地球が温暖化されているからだと言われ

ではなぜ、本コラムでこの映画を取り上げるのか？

それは紛れもなく、日本においてもまた世界的にも「水害」が頻発しているからです。その要因は、「二酸化炭素の排出」により地球が温暖化されているからだと言われ

そして近代まではバランスよく出ている水蒸気が、気温とのバランスが崩れることによって水害が増えたとされる学説が今のところ有力なわけですね。

もちろん以前にもご紹介した中部大学の武田邦彦氏のように、まったく反対の意見を唱えている学者もいますから、必ずしも「これが絶対に正解」とはいえない状態です。

実はその仕組みについては、まだまだ諸説があり、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)も、ようやくその理論を明確化しはじめた程度です。詳しい解説をしますと本欄のスペースでは足りないため要約になりますが、私たちの日常生活で、石油など化石燃料や電気などを使うことで二酸化炭素が排出されます。特に核家族化・文明化・コンクリート化が進んだ現在、この二酸化炭素の排出量が莫大で、自然のサイクルでは緩和できず「温室効果」のように地球を温めてしまつたのです。

まあ宗教の世界では良くも悪くもこういつた預言がなされていくため、日々心して生活をしていこうというところでしょうか、少なくとも私たちが一人一人が二酸化炭素の排出を減らす行動をとっておけば、人類が減るような洪水はやってこない...。そう信じたいくなる映画でした。

ただ現実問題として、世界各国で洪水や豪雨による水害は明らかに増えているため、ノアの箱舟の話は垣間見ることは、大切ではないかと本欄で取り上げた次第です。

では、ノアの箱舟は本当にあった話なのでしょうか？ これももちろん未だに解明されていない謎ですが、浦島太郎伝説同様、世界各地にノアの箱舟伝説に由来する土地や遺跡が残っているの、実在したのかもしれません。

そして未来においても、ノアの箱舟が必要とされる時が来るかもしれません。